

三重県熊野市

課題

本市は、外部から見ると羨望に値する自然や食文化を持つ地域であるが、ここに生まれ、生活している者はとりわけて評価対象として意識していない。

その「当たり前なもの」を「外部の視点」等の客観性を持った発想により地域資源として再認識し、活用していくことが課題。

実現を目指していく地域のイメージ

本市育生町で行われる「どぶろく祭り」を地域資源として再認識し、活性化に向けて、「どぶろく特区」に基づく免許を取得した(財)紀和町ふるさと公社や育生町の住民と連携し、「どぶろく」を新たな特産品とする取り組みを展開する。



調査事業の概要

I. どぶろくの製造に関する調査

1. どぶろく製造ノウハウの取得

- (1) 酒類製造の専門家を招聘し、ノウハウを確立
- (2) 全国どぶろく研究大会の参加による技術研鑽

2. 成分分析等の実施

- ・ 製造したどぶろくの成分分析等を実施

II. どぶろくの販売・活用等に関する調査

1. どぶろくの販売方法等に関する調査

- (1) モニター調査
- (2) アンケート調査



2. どぶろくの加工品開発と地域活性化に向けた可能性の検討

- ・ どぶろくを活用した商品の開発
- ・ 地域住民との製造や販売方法に関する意見交換



対応策の提示

<これまでのノウハウ、対応策>

- ・ 「どぶろく祭り」に関しては、地域住民の手で伝承された技術によりどぶろくが製造され、年に1度、観光客に振舞われている。
- ・ 「どぶろく祭り」では、地区で売店や催しなどを運営しながら、資金を確保し、事業を継続している。
- ・ 限られた観光客数ではあるが、遠方からのリピーターもいる。
- ・ また数年前より、登山等の復活整備や観光マップの作成、モニターアワー等、地域の活性化に向けて活動を始めている。

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

- ・ 販売促進に向けて一般受けする「どぶろく」の味・販売の方向性
- ・ どぶろくを使った料理レシピと当該レシピの地域への普及による地域活性化方策
- ・ 地域の資源や技術、思いを引き出し、活性化に向けて地域と行政がともに取り組む方法



<今回の調査により得られた新たな課題>

- ・ 地域と公社による技術の伝承や製造販売等に関する意思疎通は図られたが、地域の活性化に向けた協力体制の構築や共同事業の展開には、さらなる連携が必要である。